



骨粗鬆症とくすり

【骨粗鬆症とは？】

骨粗しょう症は、鬆（す）が入ったように骨の中がスカスカの状態になり、骨がもろくなる病気です。それ自体が生命をおびやかす病気ではありませんが、骨粗しょう症による骨折から、要介護状態になる人は少なくありません。

【症状】

骨粗しょう症は自覚症状の乏しい病気です。背中が丸くなる、身長が縮むといった症状は徐々に起こるためなかなか病気であると気がつきません。

骨粗しょう症によりもろくなった骨は、体の重み加わるだけで潰れてしまうことがあります。これを圧迫骨折といいます。圧迫骨折が起こると背骨がまがったり、身長が縮んだり、痛みを伴ったりします。ただし、このような状態になっても痛みを伴わない場合もありますので、日ごろから細やかな自己チェックが必要になります。

【原因】

古くなり劣化した骨はメンテナンスされて新しい骨へと生まれ変わっているのです。これが骨の新陳代謝（リモデリング）です。

骨のリモデリングは、古くなった骨を溶かす破骨細胞と、新しい骨をつくる骨芽細胞の働きによって営まれています。破骨細胞が骨を溶かすことを骨吸収、骨芽細胞が新しい骨をつくることを骨形成といいます。骨吸収が数週間続いたあと、数カ月をわたって骨形成が行われ、溶けた部分に新しい骨が埋められていきます。骨粗しょう症は、この骨の新陳代謝のバランスが悪くなることで起こる病気です。

【薬物治療】

最近では早期治療により、骨粗鬆症による骨折がかなり防げるようになりました。現在使われている薬は、骨の吸収（骨が溶ける）を抑える薬、骨の形成（骨を作る）を助ける薬、吸収と形成の骨代謝を調節する薬の三つに大別できます。

骨粗しょう症の治療薬

分類	種類	作用	主に気をつけること
骨の吸収を抑える薬	女性ホルモン	女性ホルモンの分泌が減る閉経期の女性が対象で、更年期症状を改善し骨量の減少を抑える	
	カルシトニン	骨量の減少を抑え、背中や腰の痛みをやわらげる	
	ビスフォスフォネート	骨量を明らかに増加させ、骨折を予防する	顎骨壊死※

			薬の飲み方に特徴あり、 消化管の不快感を 訴える人多い
	イプリブラボン	エストロゲン(女性ホルモン)の作用を増強し 骨量の減少を抑える。大豆に含まれる成分(フラボ ノイド)。	
骨の形成を助ける薬	ビタミン K2	骨量の形成を抑え、骨の形成を助ける	ワーファリン(血液を サラサラにする薬との 併用厳禁
吸収と形成を調節する	活性化ビタミン D3 カルシウム剤	腸からのカルシウムの吸収と骨の形成を助ける 食事からカルシウムが十分取れない場合、 長期に服用すれば骨量減少の防止になる	消化管の不快感

【薬の主な副作用】

ビスフォスフォネートによる顎骨壊死(がっこつえし)

ビスフォスフォネート系薬剤による治療中に、局所(あご付近)への放射線治療、抜歯などの歯科処置、口腔内の不衛生などの条件が重なった場合にあごの骨に炎症が生じ、さらに壊死する顎骨壊死が見られることがあります。原因はまだ明らかにはなっていませんが以下の仮説があります。

① 骨代謝回転抑制作用

ビスフォスフォネート系薬剤の投与により骨の代謝回転が過度に抑制され、あごの骨で微小骨折が蓄積し、また血管新生も抑えられて骨細胞の死にいたるという説。

② 血管新生抑制作用

血管を新しく作り変えるのを抑制してしまうという説

誘因としてあげられるのは、抜歯、歯周炎などがあり、リスクが上がる要因(リスク因子)としてはステロイドを服用している人、糖尿病の人、化学療法を受けている人、喫煙している人、口腔衛生が不良の人が挙げられます。

発生頻度は経口薬(骨粗鬆症)においては1万人に1人、注射薬(がんの骨転移など)については100人に1人だと言われています。

初期の症状は「口の中の痛み、特に抜歯後の痛みがなかなか治まらない」、「歯茎に白色あるいは灰色の硬いものが出てきた」、「あごが腫れてきた」、「下唇がしびれた感じがする」、「歯がぐらついてきて、自然に抜けた。」などがあります。このようなことに気が付いたら医師・歯科医師・薬剤師に連絡してください。

もし顎骨壊死になっても6カ月間薬を止め、口腔清掃、腐骨除去でほぼ全例治癒すると言われています。またビスフォスフォネート系の薬の服用期間が3年未満でリスク因子がなければ休薬なしで処置することもあります。大切なのはビスフォスフォネート治療を開始する前に抜歯などの手術や処置は前もって済ませておくこと、定期的に歯科検診、特にあごの骨のチェックを受けて口腔内の状態を最適にすること、家庭において毎食後のブラッシングをこまめにし、常に口腔内の状態を最適に保つよう努めることです。顎骨壊死のガイドラインについては今後変更する可能性があります。

(提供 帝人株式会社ホームページより)

しいのみセンター薬局 岐阜市北山 1-14-27 ☎058-241-1818 Fax058-241-1839

華陽しいのみ薬局 岐阜市祈年町 1-19-2 ☎058-271-1640 Fax058-275-1949

南しいのみ薬局 岐阜市芥見南山 2-8-47 ☎058-244-2112 Fax058-244-2110

お薬や「健康食品」のことなどに関して、Eメール(shiinomi@blue.ocn.ne.jp)によるご相談もお受けしています。

お気軽にご相談下さい。 ファルマネットぎふ ホームページ(<http://www.pharma-net.co.jp>)